

平成 30 年度 研修計画一覧

回	日時	内容	講師	場所
1	H30 4/14(土) 14:00~17:10	<p style="text-align: center;">〈30 年度総会・記念研修会〉 感情調節困難の理解と支援 ～パーソナリティ障害, 発達障害, 摂食障害, 薬物依存などで困難を経験している方の理解と支援～</p> <p>心理相談では, 不安, 怒り, 怖れ, 罪悪感などの感情に圧倒されて衝動的な行動をとることが習慣化し, 人間関係がこじれることでさらに感情反応が強くなっている方が多く見られます。このような状態の方は, 支援者との関係においても感情的になりやすく, 「困難事例」とみられがちです。このようなクライアントの理解と支援のために有効な考え方と理解のヒントを, 弁証法的行動療法などの工夫の中から体験の時間もとりながら伝えます。</p>	<p style="text-align: center;">長谷川メンタルヘルス研究所 所長 遊佐 安一郎 先生</p>	MSアステールプラザ
2	7/21(土) 14:00~17:10	<p style="text-align: center;">うつと催眠の類似点 —エリクソン催眠入門—</p> <p>今回は, 「うつと催眠の類似点」と題して, うつを題材にしてエリクソンの催眠を学びます。身近な存在になったうつ病, そして誰もが経験する気分の落ち込み, その症状や状態を支えるものは何か。また催眠とどのような類似点があるのか。まずはここからエリクソンの催眠についてひも解いていきます。</p>	<p style="text-align: center;">吉備国際大学 心理学部心理学科 教授 津川 秀夫 先生</p>	文化センター 広島市西区民
3	9/15(土) 14:00~17:10	<p style="text-align: center;">認知行動療法でつむぐ解決 ～苦悩と向き合うヒント～</p> <p>CBT では思考や行動へのアプローチによる具体的で現実的な解決を目指します。そのような CBT 的支援の強みの一つは, エビデンス重視による客観的なクライアント理解と問題把握によって, クライアントが日々抱える「苦悩」に対しての『解』を得ることができるという点です。今回は, クライアントが納得のいく『解』をどのように導き, 伝えていくか, 様々な事例をひも解きながら学びます。</p>	<p style="text-align: center;">中・四国心理相談委員会 会長 広島心理教育研究所 代表 小村 緩岳 先生</p>	文化センター 広島市安芸区民
4	11/10 (土) 14:00~17:10	<p style="text-align: center;">心と体の疲れをとるタッピングタッチ</p> <p>タッピングタッチとは, ゆっくりとしたペースで, 左右交互に優しくタッチすることを基本としたシンプルなケアの技法です。やさしくふれることで不安や緊張がほぐれ, 心身ともとても楽になります。人が本来の落ち着きをとり戻し, お互いへの信頼感や親しみが高まるような効果もあります。体験を通して心地よさを実感しましょう。</p>	<p style="text-align: center;">Be Happy 代表 三上 弘恵 先生</p>	文化センター 広島市西区民
5	H31 2/2(土) 14:00~17:10	<p style="text-align: center;">自身とクライアントに活かす 体験的解決志向アプローチ</p> <p>自分自身に既に備わっている傾聴能力 (自身の持ち味) の確かさを再認識し, クライアントの問題解決に必要なリソースを発見していくための構造化された演習や, 「相手のためにする質問」である解決構築の質問を体験する演習を通して, 解決志向アプローチの基礎を学びます。</p>	<p style="text-align: center;">島根大学教育学部 附属教育支援センター 准教授 足立 智昭 先生</p>	文化センター 広島市安芸区民

※資料等の準備の都合がありますので, 一週間前までの事前申し込みにご協力ください。